

# 巻頭言



愛知県知事 大村 秀章

## 「世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報 により成長を続ける愛知」を目指して

愛知県では、厳しさを増す国際情勢の動きに対応し、世界とつながり成長する地域であり続けるため、今後本県が取り組む国際関連施策の方向性を示す「あいち国際戦略プラン2027」を策定しています。

このプランでは、「若者のグローバル人材としての育成」「仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進」「愛知ならではの多様な魅力の発信」および「愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化」の4つの分野別戦略を柱立てし、「世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知」を目指し、具体的な国際関連施策を展開しています。

「若者のグローバル人材としての育成」では、国際感覚と創造性を合わせ持つ、時代に即したグローバル人材の育成を図るため、英語教育の一層の強化や国際交流の機会の充実などに取り組んでいます。

「仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進」では、さまざまな知識・技能を持つ外国人が地域の担い手として活躍できる社会を実現するため、県民の国際感覚の醸成に努めるとともに、高度人材としての活躍が期待される留学生をはじめとした外国人材の定着支援を実施しています。

「愛知ならではの多様な魅力の発信」では、世界から注目を集め、国際的なブランドが確立された地域を目指すため、本県の歴史や文化、自然といった多様な観光資源を外国人旅行者の呼び込みにつなげるとともに、国際的なイベントの開催やコンベンション施設の充実などに取り組み、本県の国際交流の拠点としての機能をさらに高めていきます。

「愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化」では、産業の国際競争力を強化するため、モノづくり産業のさらなる集積とイノベーションにより社会経済の変化に対応する「愛知型成長モデル」をさらに進化させるとともに、海外の先進的な地域・機関との連携や県内企業の国際ビジネスの支援、外国企業などの誘致を積極的に推進しています。

こうしたなか、本県では、2024年3月にジブリパークの全エリアが開業し、2024年10月には日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai (ステーション エーアイ)」がオープンしました。また、2026年には第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催も控えており、本県の国際的な認知度を大きく向上させるような事業・イベントが続いています。

本県としては、こうした機会を最大限に生かしていくとともに、各事業を県民の皆さまや国内外の幅広い方々と連携しながら推進し、成長を続けるあいちの実現を目指してまいります。